

北アルプス 五色ヶ原・薬師岳縦走

- 目的地 : 五色ヶ原(花の百名山) ~ 薬師岳(2926m, 日本百名山)
- 日程&天候 : 2006年8月3日(木)~6日(日) 毎日快晴
- 参加者 : 10名(男性4名, 女性6名)
- 参加費 : 41,600円(山小屋宿泊費・ガソリン代1000km・車出し謝礼・温泉500円・事故保険金等)
- コースタイム

3日	室堂	~	一の越	~	龍王岳	~	鬼岳	~	獅子岳	~	ザラ峠	~	五色ヶ原山荘
	7:50発	8:55	10:20	11:20~11:50	12:55	14:15	15:10着						
4日	五色ヶ原山荘	~	鳶山	~	越中沢岳	~	スゴの頭	~	スゴ乗越小屋				
	6:15発		7:00	9:20~9:50		11:35	13:30着						
5日	スゴ乗越小屋	~	北薬師岳	~	薬師岳	~	太郎平小屋						
	6:15発		9:50	10:45	14:00着								
6日	太郎平小屋	~	折立										
	5:45発		9:10着										

- 歩行 レベルC 登山中級 4日間だが、1日の歩行時間は実質6時間前後

- 山行状況 : 長い梅雨があけ4日間とも快晴。こういう山行もめずらしい。登山口の室堂に着いたときから抜けるような青空。体を慣らすため、ゆっくり登る。それでも予定より早く一の越に到着。標高2705m。時間的に余裕があるので健脚組2人は立山に登ってから後を追いかけることにする。一の越から龍王岳の肩へ。ここから五色ヶ原山荘がよく見えたので、これは軽いとみたが、この先のアップダウンがきびしく、山は甘くないことを後で実感。鬼岳で昼食。ザラ峠までは下りが長くウンザリしたが、途中で雷鳥が姿を見せてくれた。ザラ峠から少し登り返して、ようやく五色ヶ原に到達。今年は雪が多く開花の時期が遅れたらしく、五色ヶ原は花が真っ盛り。ほどなく山荘に到着。後続の立山組もすぐに到着。風呂に入って屋外で酒盛り。針の木岳や立山を眺めながらの酒盛りは最高でした。

2日目は朝6時頃出発。次々と現れる花をめでながら、ゆっくりと鳶岳を登る。小屋の主人に鳶岳の下りに珍しいリンネソウという花が咲いているはずだから、注意して見て下さいと言われ、探しながら歩く。確かに道際のハイマツの下に咲いていました。茎の先に一対の花をつけることからメオトバナともいわれるそうです。途中昼寝をする時間もあって、この日もゆっくりペースでスゴ乗越小屋へ。小屋は40人定員のところ、その3倍ほどの宿泊客があったが、我々は早く到着したため、1枚の布団に2人で寝る程度で済み、よかったです。

3日目も快晴。今日はいよいよ目指す薬師岳に登る。登りながら加賀の白山がよく見え、徐々に近づいてくるのが分かる。今日も高山植物の花が素晴らしい。長い登りだが、周囲の景色や花が素晴らしいので、全員ゆっくり登って、難なく薬師岳に到着。頂上はまさに360度の展望で、剣岳、立山、鹿島槍、槍ヶ岳、穂高など、北アルプスの山々をほとんど見渡せるほどでした。ここで昼食をとて太郎平小屋へ下る。この下りは長いが、先発隊2人が先行して10人の個室をしっかり確保。14時には全員小屋に着いてしまったので、ここからまた夕飯までご開帳。樋さんのが下りの雪渓から雪を持ってくれたので、皆でかき氷をほおばる。冷たくてうまかった~。目的の薬師岳を登ってきたので、気分的に楽になり、楽しい酒盛りになりました。

4日目はゆるやかに開けた尾根を下るのみ。登ってきた薬師岳を振りかえりながら、のんびりと下り、折立につく。(若)

感想: 行く前は、私の体力で、3泊も山小屋に泊まり、毎日歩く事ができるのだろうか?と不安で、取り止めた方がいいのでは、でも行ってみたい、こんな気持ちの毎日でしたが、思い切って参加しました。お天気が良し、お花畠が良し、コースが良し、そしてバランス(アンバランス?)のとれたメンバーが良しと、3拍子ならぬ4拍子も揃った、楽しく、思い出に残る山登りになりました。これからも沢山参加したいと思います。皆様ありがとうございました(海)

8. 写真

竜王岳の肩から五色ヶ原を望む



チングルマと黒部湖



鳶岳にて薬師岳をバックに。左奥は笠ヶ岳



薬師岳の登りのお花畠



薬師岳頂上



太郎平小屋前の広場での酒盛り

